

発情発見システムの活用事例について

～繁殖成績・経営改善効果の検討～

畜産農家の飼養規模が拡大している中、様々なメーカーがICTを活用した繁殖管理機器を販売しています。

当事務所では導入農家の繁殖成績と経営への影響を調査・検討しましたので、その改善効果について紹介します。

発情発見システムの導入事例

(1) 調査農家

和牛繁殖農家（飼養規模：繁殖雌牛 約90頭）

(2) 繁殖成績の改善効果

	導入前	導入後	導入効果
初回種付日数(日)	68	49	-19
発情発見率(%)	87	99	+12
種付回数(回)	1.5	1.1	-0.4
受胎率(%)	68	89	+21
分娩間隔(日)	388	356	-32

(3) 経営改善効果

導入費 (センサー約30 台等)	維持費 (サービス利用 料、修繕費等)	導入による利 益向上効果 (試算)
約180万円	約26万円/年	約85万円/年



- 繁殖成績の改善により子牛販売頭数が増加、増収効果により導入経費を3年で回収できる！！（見込み）
- 頭数規模や導入前の成績などにより、効果に違いが出ますので、現状に合わせた機器の導入の検討を！！